



青葉匂う

四日市市立港中学校通信

令和元年度 第12号

9月24日（火）発行

全国学力・学習状況調査の結果の状況について

学校通信第10号でお知らせしました1、2年生のNRT検査結果に続いて、4月18日（木）に3年生が実施しました、全国学力・学習状況調査結果を2回に分けてお知らせします。今回は学力調査結果からみられる本校生徒の特徴（強みと弱み）です。なおこの調査は数値を公表できませんので、「上回る」「下回る」等の表現にしてあります。次回は、学習状況調査結果の状況を報告します。

全国学力調査からみられる本校生徒の特徴（強みと弱み）

【国語】

①強み

領域別では、「読むこと」が全国の正答率と比べてかなり上回り、特に「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が高くなりました。また、「話すこと・聞くこと」もかなり上回る結果でした。

加えて、「読むこと」の問題に関して、全ての問題で無回答率が0であったことは、文章の内容を読み取る力がついてきていると考えられます。また、全員が最後の問題までやり通すことができることはとても素晴らしいことです。

全国の正答率に比べて、正答率が一番高い問題は「語を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する」でした。正答率が二番目に高かった問題は「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ」でした。これは平素から、相手に合わせた語句の選択や言葉遣いをする、自分の意見を述べる際には必ず根拠を明確にすること、という指導を大切にしてきた結果が表れていると考えています。

②弱み

領域別では、「書くこと」のみ、正答率が全国平均をわずかに下回りました。全国の正答率に比べて、正答率が一番低かった問題は、「書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する」でした。また、全国の正答率に比べて正答率がわずかに下回った問題がもう一問あり、「話し合いの話題や方向を捉える」という問題でした。正答率の低かった問題は、いずれも選択問題であるとともに、いずれも、文脈を捉えたうえで、その中の言葉の働きや、役割を考えて答えるという問題でした。このようなことから、一つの会話や文章中の一文一文が「何をいっているのか」という具体的な内容を捉えることはできているものの、その一文一文が「この会話や文章の中でどのような働きをしているのか」ということを抽象化して捉えるという力が弱いと考えています。また、同じ自分の意見を「書く」という問題でも、自分の意見を自由に書くことはできるものの、文脈に合わせて、自分の考えを書くということも弱いと考えられます。

【数学】

①強み

正答率が全国平均をかなり上回りました。領域別に見ると「資料の活用」「図形」が特に高く、「関数」が高くなりました。単元別には、「数学や図形などについての知識・理解」「数学的な見方・考え方」はかなり上回り、「数学の技能」は高くなりました。観点「数学的な見方・考え方」の問題が上回

っているということにより、数学の活用問題をよく理解していると考えられます。また、2年生時に実施のNRT検査では「関数」が全国正答率を下回っていましたが、本検査では「関数」で全国正答率を上回りました。

②弱み

領域「数と式」の正答率がわずかに下回り、やや計算や等式を苦手とする生徒が多いと考えています。

全国正答率が一番低かった問題は、「与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる」です。次に低かった問題は「証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している」です。

数学においては、習熟度に二極化があり、習熟度の低い生徒への指導に課題があるため、副教材の「数学のベーシックマスター」を丁寧に取り組みます。

【英語】

①強み

正答率が全国平均を大幅に上回りました。領域別に見ると、「書くこと」「読むこと」がとて高く、「聞くこと」「話すこと」も高くなりました。特に、「聞くこと」については、問題4以外は無回答率が0であり、「読むこと」の問題についても無回答率が0でした。このことは、全員が最後の問題までやり通すことができることでありとても素晴らしいことです。

「食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く」は、全国正答率を大幅に上回りました。日頃から自分で考えて書くという活動を取り入れてきていることが、書くことへの抵抗感を低くしている良い効果に繋がっていると考えられます。

②弱み

「話すこと」の問題の月日に関する基本的な表現、「聞くこと」の問題は、英語を聞いて理解できていないわけではないものの、細かな部分の聞き取りができていないため、ミスにつながっている傾向が見られました。曜日、月日、天気などの基本的な表現は、授業の始めに必ず全員で確認をしていますが、形式だけで終わっている生徒が何人かいると考えられるため、丁寧に確認する必要があります。

また、「まとまりのある英語を聞いて答える問題」「ある状況を描写する英文を読んで答える問題」の正答率が低かったので、少しずつ長い英文を読んだり、聞いたりして、内容が理解できるよう指導しています。加えて、「自分の考えを書く」問題に対しては、テストでは時間が限られているために、決められた時間内で「どのように自分の考えをまとめ英語で表現するか」に慣れる練習します。

生徒会役員選挙 10月1日(火)立会演説会及び投票

生徒会役員の改選が始まります。穏やかでしっかりした中にも、楽しさやユーモアが加わった温かみのある雰囲気を作ってくれた3年生を中心とした役員から、伝統ある港中学校をさらによくするための活躍を期待できる1・2年生にバトンが渡されます。

今回の役員改選から、任期が10月～翌年9月末までの1年間に変更になります。

立会演説会の候補者の凛とした姿や全校生徒の心に響く演説内容が楽しみでなりません。一人でも多くの立候補を期待しています。生徒の皆さんの力で、今以上に活気のある生徒会活動にしましょう！

2学期 中間テスト発表！ 9月30日(月)、10月1日(火)に中間テストがあります。

生徒の皆さんは、毎日の授業を大切にしていますので、教科書やノートを中心に学習すれば大丈夫です。併せて、ワークを2回ほど繰り返すことで一層定着すると思います。大事なことは、毎回テスト週間を振り返り、学習した実力を十分に発揮できる自分に合った学習方法を見つけることです。